

● 世界の主な火山活動

平成 29 年（2017 年）5 月に噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。

シベルチ（Sheveluch） ロシア（図中A） 標高 3,283m

噴火が続くシベルチでは、火山灰を含む噴煙が海拔 9～11km まで上がる爆発的噴火が度々発生した。

ボゴスロフ（Bogoslof） アメリカ（図中B） 標高 150m

5 月 16 日に発生した噴火では、火山灰を含む噴煙が海拔 10.4km まで上がった。また、28 日には火山灰を含む噴煙が少なくとも海拔 10.7km まで上がった。

フエゴ（Fuego） グアテマラ（図中C） 標高 3,763m

噴火が続くフエゴでは、5 月 5 日から新たな活動期に入り、それは 2012 年以降の活動の中でも最も激しい活動期であることが報告された。降灰も多く、溶岩流は 2～3 km 流れた。報道によると、この活動に伴い約 300 人の住人が避難した。

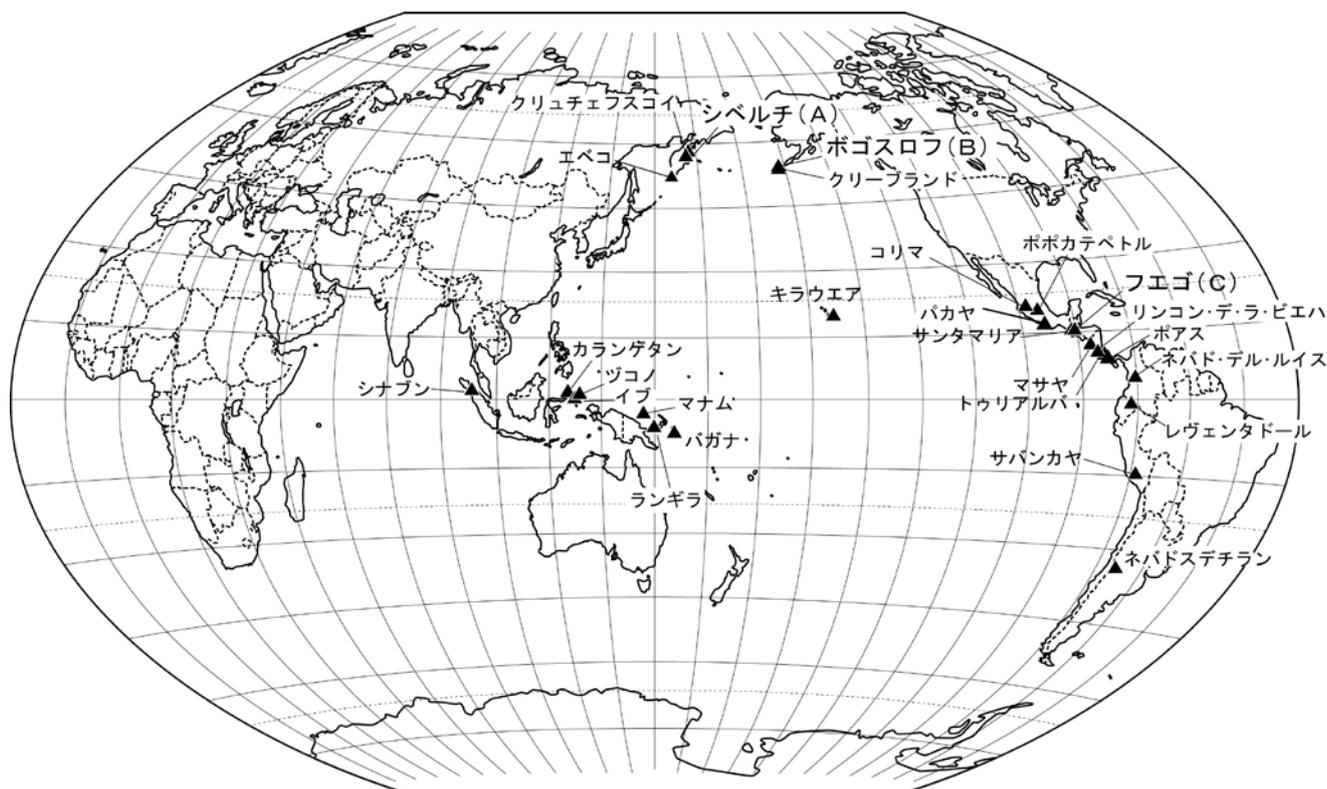


図 平成 29 年（2017 年）5 月に噴火した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。